



2022年11月7日

各 位

会 社 名 株式会社宮入バルブ製作所
代 表 者 代表取締役社長 西田 憲司
(コード番号 6495)
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 市川 浩
(TEL 03-3535-5575)

2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異

及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2023年3月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異

(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,800	30	25	15	0.31
実 績 値 (B)	3,201	81	81	52	1.08
増 減 額 (B-A)	401	51	56	37	
増 減 率 (%)	14.3	170.0	224.0	246.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	2,638	△14	△25	△32	△0.67

2. 2023年3月期通期業績予想の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,800	70	60	40	0.83
今回修正予想 (B)	6,000	100	100	70	1.46
増 減 額 (B-A)	200	30	40	30	
増 減 率 (%)	3.4	42.9	66.7	75.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	5,386	72	58	40	0.85

3. 差異および修正の理由

売上高につきましては、製品商品売上高は、L P ガス容器用弁が競合他社の廃業に伴う数量増と製品値上げ前の駆け込み需要により大幅な増加となりました。また、作業屑売上高については、当期は工場の稼働率を上げたこと、および黄銅材の引き取り価格が高騰したことにより大幅に増加しました。以上により、当初予想を大幅に上回る増加となりました。

損益面につきましては、L P ガス容器用弁をはじめとする黄銅弁全般の製品値上げが効果を発揮したこと、および当社が採用している棚卸資産の評価方法（総平均法）では、材料等の仕入価格が上昇を続けている場合に棚卸資産評価額が増加するため、資産効果による利益増が発生することにより、当第2四半期累計期間においては当初予想を大幅に上回る利益の計上となりました。

2023年3月期通期業績予想について、今後は評価額が高めの棚卸資産が販売されていくため収益性が悪化していくと見込んでおりますが、製品価格の値上げの効果を踏まえ、売上高および各利益数値について修正を行ないました。

なお、配当予想につきましては変更ありません。

※ 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

以 上